|        |   | 実行  | 点検・評価   | 改善   |
|--------|---|---|---|--|
| 鳥居本地域  | 国道8号バイパスの整備促進                             | 米原工区については、国において<br>令和7年秋の供用開始に向けて工<br>事が進められています。また、先<br>線(彦根~東近江)については、<br>都市計画決定に向け、協議が進め<br>られています。  | 彦根〜東近江の区間については、<br>令和6年度の都市計画決定の予定で<br>す。           | 特になし   |
|        | 地域幹線道路の改良                                 |   | 関連する国道8号歩道整備と整合<br>を図りながら事業を進めます。                   | 引き続き、関係者との協議を進めます。                                   |
|        | 矢倉川などの河川改修による洪水対<br>策                     | 一級河川矢倉川の改修工事が県に<br>より進められました。   | 一定区間の工事が進められ、上流<br>区間につきましては、事業準備区<br>間に位置づけされています。 | 特になし   |
|        | 中山道鳥居本宿周辺の歴史的なまちなみを活用したまちづくりの推進           | 小江戸ひこね町屋活用コンソーシ<br>アムの活動支援を通して、歴史的<br>なまちなみ保全に寄与する空き町<br>屋の利活用の推進に努めました。<br>また、歴史街道(中山道)の特徴<br>を知っていただけるよう、周知を<br>図りました。                                  | 引き続き活動支援および周知を<br>図っていきます。                          | 特になし   |
|        | 佐和山城跡の史跡指定とその活用                           | 現在、史跡指定に向けて報告書の<br>作成を進めています。なお、令和4<br>年度には、(公財)滋賀県文化財<br>保護協会の調査が終了し、現地の<br>引き渡しが終了しました。   | 遅延しております。   | 事業を進めるため、滋賀県と連携<br>を深め、指導・協力を得ます。                    |
| 旧城下町地域 | 彦根駅周辺への都市機能の集約と銀<br>座街を中心とする中心市街地の活性<br>化 | 市役所本庁舎の耐震増築工事が完了し、彦根駅西口仮庁舎と市民会館・中央町仮庁舎の部署が移り、機能の集約化を図りました。令和4年度にアルプラザ彦根がリニューアルオープンされました。銀座街を中心とする中心市街地活性化については、銀座街まちづくり懇談会を開催し、銀座商店街のまちづくりについて話し合いを行いました。 | 令和4年度は任意で銀座街まちづく<br>り懇談会を毎月開催し、情報共有<br>を行いました。      | 特になし   |
|        | 彦根駅前周辺道路のバリアフリー化<br>による歩行者空間の機能向上         | 彦根駅前広場の再整備に向けて、<br>関係機関との協議を進めていま<br>す。   | 遅延しております。   | 彦根駅前広場の再整備について<br>は、利用者の安全に配慮した工事<br>工程の計画を立案していきます。 |
|        | (仮称) 彦根総合運動公園と隣接する市管理の金亀公園の一体的な整備         | 市管理の金亀公園において再整備<br>に取り組んでおり、県が整備を進<br>める主会場との連絡橋の整備手法<br>や施設の相互利用にかかる協議な<br>ど一体的な整備を進めています。   | スロープ園路工事が進められ令和5<br>年度の完了予定です。                      | 特になし   |

|     |   | 実行  | 点検・評価   | 改善                             |
|-----|---|---|---|--------------------------------|
|     | 伝統的建造物群保存地区やその他城<br>下町でのまちなみの保存・活用                            | 彦根市河原町芹町地区伝統的建造物群保存地区のまちなみを保存するため、国の補助制度を活用し、<br>伝統的建造物の修理およびそれ以外の建築物の修景事業に対し、支援事業の実施に向け協議を行いました。             | 予定どおり   | 特になし                           |
|     | 特別史跡彦根城跡内の観光駐車場の<br>段階的な郊外移転とシャトルバス運<br>行による彦根城周辺の観光環境の向<br>上 | 彦根IC付近の駐車場と彦根城周辺を結ぶシャトルバスを運行させるパーク・アンド・バスライドの社会実験を令和4年度(秋)を開催いたしました。  | 社会実験が終了し、これまでの社<br>会実験の結果を考慮し、今後の本<br>格実施について検討していきま<br>す。  | 特になし                           |
|     | 南彦根駅周辺への都市機能の集約   | 都市機能の集約化として、文化と<br>スポーツの交流地域となる新市民<br>体育センターの整備を進めていま<br>す。   | 令和4年12月にスポーツ文化交流センターの供用を開始し、都市機能の集約化が実現できることになります。          | 特になし                           |
| 新市街 | 新市民体育センターの整備を中心と<br>するまちの賑わい創出                                | 新市民体育センターと地域交流センターの合築整備を契機とした、南彦根駅周辺地区における一体的かつ集中的なまちづくりを進めるために、都市再生整備計画(南彦根駅周辺地区)を策定しており、計画に沿った各種事業を実施しています。 | 令和5年度中に計画を策定し、賑わい創出を実現します。                                  | 特になし                           |
| 地地域 | JR岡町踏切付近の交差点の改良   | JR岡町踏切付近の改良に向けて、<br>用地に関する協議を継続して行<br>なっています。   | 用地に関する課題があり、また、<br>鉄道事業者との協議が必要です<br>が、引き続き事業進捗に向け進め<br>ます。 | 引き続き、関係者との協議を進めます。             |
|     | 都市計画道路大藪磯線の延伸   | 今年度の事業進捗はありません。   | 「彦根市道路整備プログラム」に<br>も位置付けている計画道路です。                          | 特になし                           |
|     | 平田川や野瀬川の河川改修による洪<br>水対策                                       | 一級河川野瀬川の改修工事が県により進められています。平田川については、改修について検討が行われています。  | 改修についての検討を引き続き行われる予定です。                                     | 特になし                           |
|     | 彦根駅東土地区画整理事業区域内の<br>土地利用の促進                                   | 土地区画整理事業としては概成しており、換地処分は完了しました。   | 令和5年度に完了予定です。   | 未完事業の早期完成、未利用地の<br>有効利用を目指します。 |

|             |                                 | 実行  | 点検・評価  | 改善    |
|-------------|---------------------------------|---|--|-------|
| 彦 根 駅 東 地 域 | 野田山地区における工業系用途地域                | 成制度を企業に活用いただけるよ<br>うに制度の周知を図り、企業にお  | 立地希望企業に紹介可能な物件に<br>ついては、既に随時紹介していま<br>すが、造成済みで紹介可能な未利<br>用地はごく少ない状況です。<br>引続き用地情報の取得に努め、企<br>業立地促進条例の活用等により、<br>企業の用地開発を促進していく必<br>要があります。 | 特になし  |
|             | 国道306号バイパスの整備と彦根IC付             | 国道306号バイパス(都市計画道路<br>原松原線)は、令和6年度の供用<br>開始を目標として、県において工<br>事が進められており、令和3年度<br>には区間内のトンネルが貫通して<br>います。また、令和4年度におい<br>て、国道306号事業区域に係る市有<br>地の譲渡を行いました。<br>周辺の市道拡幅については、バイ<br>パスに伴う市道改良が県により進<br>められており、市においては関連<br>する市道整備を行ないますが、一<br>部区間において設計および工事等<br>を実施しました。 | 国道306号パイパスについては、令和6年度の供用開始を目指されており、彦根IC付近の市道拡幅についても整合を図り、令和6年度の供用開始を目指します。   | 特になし  |
|             | 彦根IC付近でのパーク・アンド・バス<br>ライド駐車場の整備 | パーク・アンド・バスライド駐車場の整備に向けた国の支援事業の適用について検討を進めており、様々な支援事業の中から最良な方法を検討している状況です。   | 予定どおり  | 特になし  |
|             | 幹線道路の後背地などでの住居系用<br>途地域への見直し    | 今年度の実施はありません  | 今後実施する予定です。  | 特になし  |
| 南彦根駅        | 南彦根駅周辺への都市機能の集約                 | 今年度の実施はありません  | 今後も都市機能の集約につながる<br>よう努めます。   | 特になし  |
|             | 高宮地区における工業系用途地域の<br>低未利用地への企業誘致 | 立地希望があった企業に対して、<br>用地紹介を行いました。<br>また、企業立地促進条例による助<br>成制度を企業に活用いただけるよ<br>うに制度の周知を図り、企業にお<br>ける用地開発を支援しています。  | 立地希望企業に紹介可能な物件に<br>ついては、既に随時紹介していま<br>すが、造成済みで紹介可能な未利<br>用地はごく少ない状況です。<br>引続き用地情報の取得に努め、企<br>業立地促進条例の活用等により、<br>企業の用地開発を促進していく必<br>要があります。 | 特になし  |
|             | 彦根口駅の駅舎整備                       | 近江鉄道沿線地域公共交通再生協<br>議会において、他の施設等を含め<br>検討を進めます。  | 引き続き検討を進めます。   | 特になし。 |

|      |                                   | 実行  | 点検・評価   | 改善   |
|------|-----------------------------------|---|---|------|
|      | 公共下水道雨水幹線整備による洪水<br>対策            | 高宮新川排水区において、整備に<br>向けた協議を関係機関(国道)と<br>行ないました。   | 関連する国道8号歩道整備と整合<br>を図りながら事業を進めます。             | 特になし |
|      | 中山道高宮宿周辺の歴史的なまちなみを活用したまちづくりの推進    | 小江戸ひこね町屋活用コンソーシ<br>アムの活動支援を通して、歴史的<br>なまちなみ保全に寄与する空き町<br>屋の利活用の推進に努めました。<br>また、歴史街道(中山道)の特徴<br>を知っていただけるよう、周知を<br>図りました。                              | 引き続き活動支援および周知を図っていきます。                        | 特になし |
| 河瀬地域 | 河瀬駅周辺での居住促進                       | 居住誘導の促進に向け、平成30年3<br>月に策定した彦根市立地適正化計<br>画に基づき、緩やかな集約都市の<br>形成を図るため、立地適正化計画<br>の周知を図りました。  | 引き続き周知を図っていきます。                               | 特になし |
|      | 河瀬公園の整備                           | 令和6年度の完成に向けて現在公園<br>の整備中です。   | 令和4年7月に部分共用を開始しま<br>した。                       | 特になし |
|      | 荒神山公園の機能強化                        | 老朽化したトイレの改築を実施<br>し、機能強化を進めました。   | 予定どおり   | 特になし |
|      | 市街化調整区域における集落コミュニティの維持のための地区計画の検討 | 市街化調整区域における地区計画制度の運用基準を策定し、その中で既存集落型地区計画を位置付けています。<br>令和3年度から引き続き、下石寺町が地区計画の決定に向けて原案の申出の合意形成を図っております。   | 市街化調整区域における地区計画制度の運用基準の周知を図ってまいります。           | 特になし |
|      | 良好な農地や荒神山などの自然景観の保全               | 河瀬駅自由通路において史跡荒神山古墳等のパネル展示を実施し、啓発に努めています。<br>景観法ならびに風致条例に基づき、良好な自然景観の保全に繋がるよう指導助言に努めました。また、本市を含む滋賀県景観行政団体協議会により、滋賀の眺望景観ビューポイントの一つに荒神山山頂から見る琵琶湖が選ばれました。 | 選定された荒神山山頂のビューポイントについて、視点場の所有者と連携し周知を図っていきます。 | 特になし |

|      |                                  | 実行   | 点検・評価   | 改善    |
|------|----------------------------------|--|---|-------|
| 稲枝地域 | 稲枝駅周辺での公共交通の利便性の<br>向上           | 平成31年4月から、湖東圏域地域公<br>共交通再編実施計画に基づき運行<br>しています。   | 再編実施計画により現状の運行を<br>5年間維持してきましたが、令和5<br>年度は計画の見直し時期にあたる<br>ため、将来の稲枝地域に必要な公<br>共交通についても検討する必要が<br>あります。 | 特になし  |
|      | 稲枝駅周辺での居住促進                      | 居住誘導の促進に向け、平成30年3<br>月に策定した彦根市立地適正化計<br>画に基づき、緩やかな集約都市の<br>形成を図るため、立地適正化計画<br>の周知を図りました。             | 引き続き周知を図っていきます。   | 特になし  |
|      | 稲枝駅西側地区の都市計画公園の整<br>備を含むまちづくりの推進 | するため、基本計画の策定を実施  | 都市公園の整備については基本計画の策定を進めます。<br>また、高等専門学校の誘致については、実現が叶いませんでしたが、今後も土地の有効活用ができるように地域と協力して取り組みます。           | 特になし  |
|      |                                  | 市街化調整区域における地区計画制度の運用基準を策定し、その中で計画明示型地区計画を位置付けています。令和4年度に縦覧、意見公募等を行い、令和5年1月に稲枝駅西側地区地区計画の都市計画決定を行いました。 | この地区計画を第一歩として、今<br>後の稲枝駅西側地区のまちづくり<br>の推進に向けて地域の意向を十分<br>汲み取りながら、進めていきま<br>す。                         | 特になし。 |
|      | 幹線道路沿道での「道の駅」の整備<br>検討           | 今年度の事業進捗はありません。  | 関連する事業計画と整合を図り、<br>目的や必要性を含めた研究を行な<br>います。  | 特になし  |